

2学期学校評価の考察と改善策について

令和元年度 南牧小学校学校評価システムの羅針盤				アンケート例示 上:保護者用 下:児童用				令和元年度 2学期の考察と3学期の改善策				
評価対象	評価項目	具体的数値目標	今年度の方策	結果 (数字％は「Aよくあてはまる」「Bだいたいあてはまる」の合計値)								
Ⅰ 確かな学力の向上 (かしこく)	1 授業は、わかる授業となっていますか。	①「授業がわかる」と答える児童が90％以上である。	＊小規模校の利点を生かして一人一人の学習状況を把握し、きめ細かな指導を行っていきます。 ＊授業の工夫と改善を図り、知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の向上に努めます。	保護者	お子さんは「授業が分かりやすい」と言っていますか。			よい評価が得られました。今後も、学習課題を明確にし、児童1人1人の学習状況を把握しながら、少人数指導を生かした授業改善に取り組んでいきます。さらなる学力の向上を目指し、児童が互いに学び合い、考えを広め深められる授業作りを工夫していきます。				
				児童	授業はわかりやすい。							
				保護者	地域	職員	児童					
				100.00%	100.00%	100.00%	95.83%					
	2 家庭で学習をする習慣が児童に身に付いていますか。	②家庭で自分で決めた学習(含宿題)や読書などをしっかり行える児童が90％以上である。	＊懇談会や学年だよりで家庭学習の仕方・例示・紹介を行い、家庭と連携して学習習慣の定着を目指します。 ＊「家庭学習の手引き」を活用し、家庭での自主学習の内容の充実を図っていきます。	保護者	お子さんは、家庭学習(宿題・読書を含む)を自分で決めて行っていますか。			保護者、児童ともに、家庭での学習習慣について課題を感じている方もいるようです。今後も「家庭学習の手引き」を基本とし、宿題や自主学習にしていねいに取り組むことを通して自ら学ぶ力を伸ばしていけるよう、学年に応じた指導を続けていきます。また、家庭学習への取組には個人差が見られますので、家庭と連携しながら個に応じた指導を行い、家庭でのよりよい学習習慣を身に付けられるようにしていきます。				
			児童	自分から、家庭学習(宿題・読書を含む)を、きちんとしている。								
			保護者	地域	職員	児童						
			83.33%	—	100.00%	91.67%						
Ⅱ 豊かな人間性の育成(やさしく)	3 気持ちのよい返事や挨拶をする児童が育っていますか。	③気持ちのよい返事や挨拶ができる児童が90％以上である。	＊全体指導や日常的な学級指導、道徳科等の充実を通して継続的な指導をしていきます。 ＊言語環境を整えるとともに、「みんなのやくそく」の定着を図っていきます。	保護者	お子さんは、家族や地域の人などに気持ちのよい返事や挨拶をしていますか。			おおむねよい結果が得られました。全体的には、明るく気持ちの良い挨拶や返事のできる児童が育っていると言えます。今後も学校・家庭・地域で連携しながら、どんな場面でも日常的に気持ちの良い返事や挨拶ができるように、継続して指導していきます。				
				児童	家族や地域の人たちに、いつも気持ちのよい返事やあいさつをしている。							
				保護者	地域	職員	児童					
				95.83%	100.00%	100.00%	95.83%					
	4 いじめのない学校づくりのために取り組んでいますか。	④いじめの発生予防に努め、いじめの解消率が100％である。	＊小さい出来事も見逃さないように、日常の観察をしっかりと行い、毅然とした態度で指導を行います。 ＊いじめ防止基本方針に基づいた取組を行います。	保護者	学校は、いじめのない楽しい学級づくりや学校づくりに努めていると思いますか。			友達から嫌なことを言われたり、されたりという事例がありました。この事例はすでに解消していますが、引き続きいじめの未然防止・早期発見・早期対応を学校全体で取り組んでいきます。また、子どもたちが毎日気持ちよく学校生活を過ごせるように努めます。				
				児童	2学期のあいだ、人からいじめられたことはない。							
				保護者	地域	職員	児童					
				100.00%	—	100.00%	87.5% 解消率100%					
	5 自分のよさに気づき、夢や希望をもった児童が育っていますか。	⑤自分のよさや好きなこと、自分の可能性を伸ばすことについて、学校や家庭で話したり考えたりしている児童が90％以上である。	＊学級や縦割り班の活動を通して、集団の中で自分らしさを発揮できる機会をつくります。 ＊当番活動や様々な係活動を通して、自己の役割を理解し積極的に行動できる力を伸ばします。 ＊児童が活躍している様子を、家庭に向けて発信していきます。 ＊目標をもち、自己理解・自己実現を図るキャリア教育の充実に努めます。	保護者	学校や学校以外の様々な活動を通して、お子さんのよさが発揮されていると思いますか。			おおむね良い結果が得られました。多くの児童が集団の中で自分の良さを発揮し、進んで活動することができています。1学期には、自分のことについて家族と話をする機会が少ない児童について課題が見られましたが、2学期は、家庭で自分のことについて話す児童が増えました。今後も、学校・家庭・地域で連携した取組を大切に、学校から家庭へ児童のよさについて話題となるような情報発信ができるよう努めます。				
				児童	学級や縦割り班の活動で自分の役割を理解して進んで活動している。 学校のできごとや、自分の好きなことを、家の人と話すことがある。							
				保護者	地域	職員	児童					
				100.00%	100.00%	100.00%	95.83% 95.83%					
	Ⅲ 健康・安全・安心の推進 (たくましく)	6 児童の健康を考えた適切な取組を行っていますか。	⑥基本的生活習慣の大切さを知り、早寝早起きのできる児童が80％以上である。	＊学校保健委員会での取組を基盤とし、全校でよい生活習慣づくりに取り組んでいきます。 ＊体育部と連携し、体力テストの結果等を活用しながら、運動習慣の定着に向けた取組をしています。	保護者	お子さんは、食事・運動・睡眠など、基本的な生活習慣が身に付いていますか。			家庭との連携ができ、おおむね良い評価が得られています。今後も定期的に健康チャレンジシートを活用し基本的生活習慣の確立を目指していきます。目標は達成されていますが、早寝早起きについて、まだ課題もあるため、ノーマディアも含め、よりよい生活習慣が定着するよう家庭へもアプローチしていきます。			
					児童	食事、運動、睡眠など、規則正しい生活をしている。						
					保護者	地域	職員	児童				
					95.83%	100.00%	100.00%	87.50%				
7 児童の体力の向上を考えた取組を行っていますか		⑦学校や家庭で体を動かしている児童が90％以上である。	＊業間休みを長めに設定し、運動や遊び環境の工夫、体育や体育的活動と連携させた指導を生かした取組を行います。	保護者	お子さんは、学校や地域の中で積極的に運動したり、遊んだりしていると思いますか。			おおむね良い評価が得られました。児童には今後も「体づくりこつこつシート」を活用するとともに、休み時間に外で遊ぶように声をかけたり、一緒に遊んだりして児童が外遊びをするようにしていきます。保護者との連携についても定期的に家庭で児童と保護者が運動する機会を設ける等の工夫をして、家庭でも運動に取り組めるよう、運動の大切さの意識を高めていきます。				
				児童	一週間のうち平日4回以上、休み時間や放課後に外遊びや運動を行っている。							
				保護者	地域	職員	児童					
				95.83%	—	100.00%	100.00%					
8 学校の安全対策はとられていますか。		⑧避難、救護などを想定したシミュレーションを定期的に行い、危機対応の見直しを図っている。	＊不審者・火災・地震等に対する対応訓練を計画的に行います。 ＊危険回避能力を身に付ける指導を計画的に実施していきます。	保護者	学校は避難訓練(地震・火災)や不審者対応などの安全指導を、計画的に実施できていると思いますか。			おおむね良い結果が得られました。2学期は地震に対する避難訓練を8月と11月に行いました。11月の避難訓練では、登校の時間に小学校・中学校合同で行いました。どの児童もその場に合った対応ができていたと思います。避難経路や身の守り方について共通理解を図りました。今後も避難訓練の意義を周知し、いざという時に安全に避難し、自分の身を自分で守れる力を身に付けさせる指導を充実させます。また、今まで同様に安全点検を行い、安全対策を継続していきます。				
				児童	教室・校庭・体育館で危険な場所があった時、気をつけることができる。							
				保護者	地域	職員	児童					
				100.00%	94.12%	88.89%	95.83%					
9 登下校時の安全対策がとられていますか。		⑨安全に注意して歩いたりバスの中で安全に過ごしたりできる児童が100％である。	＊通学路の安全点検を定期的に実施します。 ＊バスの安全な乗り方について指導していきます。 ＊事故や熊の出没等、その都度危険情報を示して指導を行います。	保護者	学校は通学路やバスの安全な乗り方など、登下校の安全確保のための取組ができていますか。			おおむねよい結果が得られました。学期の始めと終わりに集団下校を行い、通学路の安全確認やバス停での待機の仕方を確認・指導しました。また、登校班会議を行い、自分たちの登校の仕方について振り返らせました。今後も子どもたちがより安全に登下校できるよう継続指導していきます。3学期も不審者や、猿・熊などの野生の動物に遭遇する危険性もあるので、保護者や地域の方と連携し、安全な登下校ができるよう指導していきます。また、3学期は、路面の凍結等も考えられるので、安全に登下校ができるような指導をさらに充実したいと思います。				
				児童	登下校のとき安全に歩いたり、きまりを守ってスクールバスに乗ったりしている。							
				保護者	地域	職員	児童					
				100.00%	100.00%	100.00%	100.00%					
Ⅳ 学校と家庭・地域、保育園・中学校間の連携の充実	10 学校や児童の様子を保護者や地域の方に伝え、理解を得ていますか。	⑩「学校や児童の生活の様子がわかる」と答える保護者が90％以上である。	＊学校だより、学年だより、ふれあいテレビ、ウェブページで学校の方針や様子を効果的に伝えていきます。	保護者	学校は各種たよりや通信物・電話・連絡帳・ホームページ・なんもくTVなどを通じて、保護者への連絡をきめ細かく行っていると思いますか。			よい結果が得られました。3学期は、いろいろな学年の児童の活動の様子をお伝えできるよう、ホームページの活用をより積極的に進めたいと思います。また、ふれあいテレビや学校だよりでは、行事等を中心に教育活動の様子を効果的に伝えられるように工夫していきます。				
				児童	学校だよりや学級だより・連絡帳などで学校や自分のことが家の人によく伝わっている。							
				保護者	地域	職員	児童					
				100.00%	100.00%	100.00%	95.83%					
	11 保護者が学校を理解したり、協力したりしやすい環境をつくっていますか。	⑪授業参観後の懇談会に出席している保護者が90％以上である。	＊学校公開日・日曜参観を設定したり、参加しやすいPTA活動を行っていきます。また、職員はいつでも悩みや意見を相談しやすい対応を心がけていきます。	保護者	学校行事や授業参観・PTA活動などは参加しやすいと思いますか。			家庭の協力のもと、よい結果が得られました。引き続き、学校行事や授業参観、PTA活動への参加の呼びかけを積極的にしたり、相談を受けやすい対応を心掛けたりしていきます。				
				児童	家の人や地域の人が業前や学校行事や授業参観などによく来てくれる。							
				保護者	地域	職員	児童					
				100.00%	94.12%	100.00%	100.00%					